

第3期戸田市スポーツ推進計画【概要版】

1 第3期戸田市スポーツ推進計画の計画期間

令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までの5年間を計画期間とします。ただし、国内外の動向や社会情勢の変化に対応し、適切な施策の推進を図ることから、必要に応じて見直しを行います。

2 第3期戸田市スポーツ推進計画の策定体制

スポーツの推進に当たっては、幅広い関係者の協力を得ながら、地域の実情に応じた取組が求められています。

そこで、学識経験者や関係機関の職員、スポーツ関連団体の代表者や市民などを委員とする「戸田市スポーツ推進審議会」で審議しました。

戸田市スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第31条に基づき設置しており、計画の審議のほか、戸田市のスポーツの推進に関する重要事項について審議しています。

また、本計画の原案は、庁内関係部署の職員で構成された戸田市スポーツ推進計画策定委員会において協議されたものです。

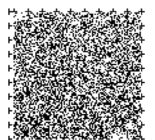
3 第3期戸田市スポーツ推進計画策定の背景

第2期戸田市スポーツ推進計画の計画期間（令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）まで）において、第3期スポーツ基本計画（国）の策定をはじめ、次に掲げるスポーツに係る社会背景の変化等がありました。

(1) 第3期スポーツ基本計画（国）の策定

国においては、令和4年3月に「第3期スポーツ基本計画」が策定され、スポーツを通じた「多様な主体におけるスポーツの機会創出」、「スポーツによる健康増進」、「スポーツによる地方創生・まちづくり」、「スポーツを通じた共生社会の実現」等を総合的かつ計画的に取り組む施策として掲げ、スポーツの価値を高め、全ての人々がスポーツの力を享受できる社会の実現を目指すこととしています。

地方公共団体に対しても、地域の実情に応じたスポーツ推進計画の策定・見直しを求めています。



このような国の動向を踏まえ、本市においても、国の基本方針との整合性を図りながら、本市の地域特性や市民ニーズに対応した新たなスポーツ推進計画を策定することにより、市民一人ひとりがスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康で豊かな生活を送ることができる環境づくりを推進していく必要があります。

(2) スポーツ基本法の改正

平成23年（2011年）に制定されたスポーツ基本法では、同法第10条において「都道府県及び市町村は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に則したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとする。」と定められています。

制定から14年が経過し、この間、スポーツを取り巻く社会環境が大きく変化したことを受け、令和7年にスポーツ基本法が改正されました。

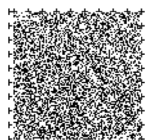
この法改正では、健康長寿社会や共生社会の実現、地域や経済の活性化、デジタル化の中での人との豊かなつながりなど、スポーツを通じた社会課題の解決に期待が高まっている現状に対応するとともに、スポーツ権の実質化を図り、ウェルビーイングといった多様な国民一人一人の生きがい及び幸福の実現を図るための改正となっています。

本市においては、法に基づき引き続き、スポーツの推進に関する計画を定めることとし、法改正の趣旨を踏まえ、市民一人ひとりがライフステージに応じてスポーツに親しめる環境づくりを目指していきます。

(3) 戸田市スポーツ推進条例の制定

スポーツの推進に関し、全ての市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができるよう基本理念を定め、市民の心身の健全な発達と活力ある地域社会の実現を目的として、令和6年4月1日に戸田市スポーツ推進条例（令和6年条例第4号）を制定しました。

同条例に基づき、市は、スポーツの推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施し、スポーツの推進に関する施策の効果検証及び評価を行うこととしていることから、第3期戸田市スポーツ推進計画の策定に当たっては、戸田市スポーツ推進条例との整合を図る必要があります。



(4) 地域特性を活かしたスポーツ推進に係る新たな取組

地域、ボート関係者及び行政の協働によるボートのまち戸田を盛り上げるための施策の検討及び事業の実施により、ボートのまち戸田としてのイメージの定着、市民及び関係者の地域への愛着形成やボート競技に対する市民の関心度向上を図り、戸田ボートコース等の地域資源を生かした本市独自のスポーツ、レクリエーション活動の促進及び地域活性化につなげるため、戸田市ボートのまちづくりコンソーシアムを令和6年3月に設置しました。

地域資源である『本市を拠点とするトップリーグで活躍するスポーツチーム』¹について、市民がトップレベルのスポーツに触れる機会やスポーツチーム・選手の地域への愛着と競技レベルを高めるモチベーション向上を目的とし、市を挙げて応援するスポーツチーム応援気運醸成事業を令和6年度から開始しました。

4 第3期戸田市スポーツ推進計画策定に当たっての整理

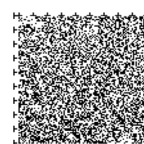
第3期戸田市スポーツ推進計画の策定に向け、令和6年9月から10月までの間で、市民のスポーツに対する意識やスポーツの実施状況、スポーツ推進に関する意見・要望などを把握するため、『スポーツ・レクリエーションに関する意識調査』を実施しました。

第3期スポーツ基本計画（国）の策定をはじめとしたスポーツに係る社会背景の変化、『スポーツ・レクリエーションに関する意識調査』の結果や第2期戸田市スポーツ推進計画の指標の達成状況を踏まえ、第3期戸田市スポーツ推進計画を策定します。

(1) スポーツ基本計画（国）における基本方針の踏襲

国が定める第3期スポーツ基本計画では、第2期スポーツ基本計画（計画期間：平成29年度から令和3年度まで）で掲げた中長期的な基本方針を踏襲しつつ、当該計画期間内に生じた社会変化や出来事等を踏まえ、これまでも取り組んできた国民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すこととされています。

¹ スポーツチーム応援気運醸成事業の対象となる『本市を拠点とするトップリーグで活躍するスポーツチーム』については、市と包括連携協定を締結し、本市のスポーツ推進に係る事業連携・協力のほか、市民サービスの向上と地域活性化に協力をいただいているチームを対象としています。

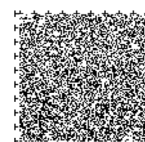


(2) 戸田市におけるスポーツ活動に関する現状と課題の整理

『スポーツ・レクリエーションに関する意識調査』の結果から見られる戸田市の現状を踏まえ、現在、本市のスポーツに関する状況については、次のような課題が挙げられます。また、その対策等を示します。

ア 市民のスポーツ実施状況及びスポーツへの関わりについて

現状	<ul style="list-style-type: none">・ 1年以内にスポーツを行っている人の種目の内訳としては、ウォーキング、ランニング、トレーニングが多い。・ 1週間のうち1回以上スポーツを行った人が多く、1回につき30分～2時間程度行うことが多い。・ 公園・広場・道路や、市内公共施設、民間スポーツ施設で、ひとりでスポーツを行うと回答した人が多い。・ スポーツを行う（行った）理由としては、「健康、体力づくりのため」、「運動不足の解消」が多い。・ 市などが実施するスポーツ教室・イベントへの参加は多い状況とはいえない。・ スポーツ団体やサークルへの加入を希望しない人の割合が多い。・ スポーツ団体やサークルへの所属、ボランティア活動への参加を希望すると回答した人は半数以下・ 1年以内にスポーツに関するボランティア活動に参加したと回答した人は1割弱・ 1年以内に観戦したスポーツとして、野球、サッカー、バレーボールなどが多く、半数は動画による視聴
課題	<ul style="list-style-type: none">・ 過去1年間に行っているスポーツの種目やスポーツを行う理由の結果から、一人でも気軽にスポーツを行いたいという要望が読み取れる。・ スポーツの団体やサークルへの加入を希望する割合が減少傾向
対策等	<ul style="list-style-type: none">・ 「スポーツ」の範囲・捉え方の整理の必要性・ 年齢や性別、障がいの有無を問わず、その人の生活スタイルに合わせて気軽にスポーツに触れられる環境整備の必要性・ 教室やイベント、施設状況の情報提供の積極的な実施及び参加しやすさの検討



イ スポーツ施設や設備について

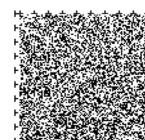
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の公共スポーツ施設の数について、「十分である」と回答した人は2割以下 ・施設を利用するうえでの要望として、施設整備が最も多い。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンターをはじめとする市内スポーツ施設の老朽化が課題 ・スポーツを行う場所（施設）や利用時間の拡充を求める意見が多い。
対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の効率的な利用方法の再検討 ・施設の開放時間の検討 ・スポーツセンター再整備検討（令和6年度に戸田市スポーツセンター基本構想策定委員会を設置し、新しい施設の方針について検討を進めている。）

ウ 水辺のスポーツの興味・関心について

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者の4割弱が市主催のボート、カヌー教室を知っているが、実際に参加経験がある人が少ない。 ・市内でボートの競技大会を観戦したことがあると回答した人が少ない。 ・ボート競技への興味関心がある人が少ない。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・戸田ボートコースや彩湖でのボート・カヌーの経験者がかなり少ない。 ・ボート競技への関心があると回答した割合も前回調査時から変わらず少ない。
対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源であるボートコースを活かしたまちづくりを実施するため、令和6年3月に「戸田市ボートのまちづくりコンソーシアム」を設置。ボートコースを活かせるようなイベントや取組について協議を行う。 ※広報戸田市において、戸田ボートコースで行われる大会イベントの周知を行うなど。

エ 障害のある方への調査結果から見たことについて

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のない人とのスポーツをする機会が「あまりない」、「まったくなく」と回答した人の割合がかなり多い。 ・スポーツを行ううえで苦勞した点については、「教室や施設情報の少なさ」、「一緒に行く仲間や相手がいない」が挙げられている。 ・障がい者スポーツを推進するために必要なこととして、「施設の充実」、「教室やイベントの充実」、「指導者やボランティアの育成」が多く挙げられている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のない人とスポーツをする機会が必要
対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある方も気軽に参加できるようなイベントがあれば、積極的に周知する。



オ 団体への意識調査結果から見たことについて

現状	<p>《構成員について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生、50歳代、40歳代の順に多く、前回調査時と比較して小学生の割合が微増していた。 <p>《指導者について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の有無について、「いる」と回答した人が半数以上であった。 指導者のうち、「有資格者で無償」、「無資格者で無償」の順に多く、7割以上が無償で行われている状況であったが、前回調査結果から大きな変化は見られなかった。 <p>《団体活動の状況について》</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体活動は「ほぼ毎日」、「週に3日以上」、「週に1～2日」で、週に1日以上実施している団体が7割以上であった。 主な活動場所は「市内・小中学校体育施設」、「市内公共スポーツ施設」の順に多い状況で、前回調査結果から大きな変化は見られなかった。 活動を続けるうえでの問題や課題について、「会員数の減少」、「活動場所（施設）の確保」の順に多い状況であり、活動場所の確保については前回調査結果より増加していた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 会員数が減少傾向 活動場所（施設）の確保が困難となっている。
対策等	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の効率的な利用方法の再検討 施設の開放時間の検討 スポーツセンター再整備検討（令和6年度に戸田市スポーツセンター基本構想策定委員会を設置し、新しい施設の方針について検討を進めている。） 学校開放事業において、より効率的に空き時間を活用できるよう、システムの導入を検討

(3) 第2期戸田市スポーツ推進計画の評価

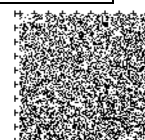
指標1 市民のスポーツ実施率（週1回以上）

目標値 60%

令和元年 32.2% → 令和6年 43.1%

【主な取組】

- 市内スポーツ関連団体への支援（事業実施の支援、補助金の交付等）
- スポーツイベント、教室等の実施（市・スポーツセンター主催、包括連携協定締結事業者の協力によるものを含む。）
- 学校施設開放事業の実施



【評価】

目標値の達成には至りませんでした。主な取組の実施により、前回調査時よりも増加しました。

本指標については国のスポーツ基本計画にも定められた指標であり、引き続き主な取組を実施してまいります。

なお、前回調査結果から増加した要因として、気軽に体を動かすことを「スポーツ」と捉える考え方が普及したことが考えられます。

指標2 ボート・カヌー教室の参加者数

目標値 350人（延べ人数）

令和元年 327人 → 令和6年 320人

【主な取組（令和6年度）】

- ・親子ボート教室（2回）、ボート体験教室（2回）、夕暮れボート教室（1回）、ボート教室【初級】・【中級】（各1回）、カヌー教室 in 彩湖（2回）

【評価】

申し込みは定員を超えていた等の状況があることから、より多くの市民に参加の機会を提供するため、令和5年度から令和6年度にかけてボート教室の定員を増やしました。

戸田市の地域資源でもある戸田ボートコースや彩湖を活かして水辺のスポーツ普及を促進していくため、第3期計画でも引き続き取り組んでいきます。

指標3 スポーツ教室の参加者数の増加

目標値 57,350人

令和元年 52,258人 → 令和6年 74,965人

【主な取組（令和6年度）】

スポーツ教室・イベントの開催（本市の各部署：98、スポーツセンター：121）

- ・戸田市スポーツセンター主催の各種教室
- ・戸田市上戸田地域交流センター主催のラジオ体操
- ・とだウェルネスマイレージ事業 等

【評価】

当日参加が可能なイベントやアプリを使って気軽に参加できる教室・イベントが増加しており、参加者数増の要因となっていると考えられます。令和元年度から令和4年度までコロナ禍で多くのイベントに制限がかかりましたが、令和5年度以降、参加者数は増加傾向にあります。



指標4 トップアスリートとの交流イベントの増加

目標値 年5回

令和元年 4回 → 令和6年 16回

【主な取組（令和6年度）】

- ・市内スポーツチームから市主催イベントの従事協力（4回）
- ・戸田市スポーツセンター主催の教室（6回）
- ・キッズ健幸アンバサダー養成講座（6回）

【評価】

戸田市にゆかりのあるトップアスリートを招いたイベント数について、包括連携協定事業者の協力及びスポーツチーム応援気運醸成事業にて支援を実施しているスポーツチームの協力により、前回調査結果よりも大幅に増加しました。

トップアスリートと直接触れ合うことができる機会をより多くの市民に周知し、多くの市民がスポーツに興味をもつきっかけとなるよう促します。

指標5 全国大会等の出場者への支援

目標値 50件

令和元年 67件 → 令和6年 45件

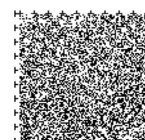
【主な取組（令和6年度）】

- ・全国大会や世界大会出場者へ大会出場助成金の交付（37件）
- ・世界大会において優秀な功績を残された方を対象とした戸田市スポーツ賞（平成30年度創設、令和3年度規則改正）の授与（8件）

【評価】

広報戸田市や戸田市HPにて当該助成事業の周知を行っていますが、まだ市民には浸透していない状況です。

交付要綱に定めている申請に必要な提出書類を揃えることに苦慮されている対象者が多くみられます。競技者のモチベーション、スポーツの競技力の向上につながる取組であるため、周知方法を工夫してまいります。



指標6 スポーツ観戦率（年1回以上）の向上

目標値 40%

令和元年 28.9% → 令和6年 29.2%**【主な取組】**

- ・戸田ボートコースで開催されるローイング選手権等、市内で開催される全国大会の周知協力
- ・パリオリンピック出場選手及び競技日程の紹介
- ・スポーツチーム応援気運醸成事業として、チームの試合日程の紹介

【評価】

市HP、広報及びSNSの活用と市内・市内公共施設におけるポスター・チラシ配架等を実施しましたが、大幅な増加には至りませんでした。

主な取組の一部は令和6年度から開始したものであり、継続して取組を行うことでスポーツ観戦率の向上につなげてまいります。

指標7 ボート競技への関心度の向上の増加

目標値 40%

令和元年 36.9% → 令和6年 32.7%**【主な取組】**

- ・市民ボート教室の実施
- ・ローイングエルゴメーター体験会の実施
- ・戸田ボートコースを活かしたまちづくりを実施するため、令和6年3月に「戸田市ボートのまちづくりコンソーシアム」を設置
- ・戸田ボートコースで開催される全国大会等を広報戸田市で周知

【評価】

第2期計画策定時から低下傾向にあります。令和6年3月に設置した、ボート関係団体及び地域団体で構成する戸田市ボートのまちづくりコンソーシアムの中で、初心者でも気軽にボート競技に親しめる機会の創出に努めていきます。



(4) 第2期戸田市スポーツ推進計画の継承

『(1) スポーツ基本計画（国）における基本方針の踏襲』で示したとおり、第3期スポーツ基本計画（国）では、第2期スポーツ基本計画（国）を踏襲しつつ、国民がスポーツを「する」、「みる」、「ささえる」ことを真に実現できる社会の実現のため、新たに3つの視点（「つくる／はぐくむ」、「あつまり、ともに、つながる」、「誰もがアクセスできる」）が示されました。

第3期戸田市スポーツ推進計画では、国等のスポーツ関連計画の流れをくみながら策定した、第2期戸田市スポーツ推進計画で掲げたスポーツを推進するための『6つの基本目標』や『7つの目標指標』について、これまでの取り組みの維持、長期的・継続的な取り組みによる効果の向上を目的として、第2期戸田市スポーツ推進計画の考え方を継承します。

(5) 第3期戸田市スポーツ推進計画に盛り込む要素

『3 第3期戸田市スポーツ推進計画策定の背景』において掲げたスポーツに係る社会背景の変化や『スポーツ・レクリエーションに関する意識調査』の結果から見えてきた課題等を踏まえ、次の3つの観点から、第3期戸田市スポーツ推進計画に盛り込む『6つの要素』を整理しました。

この6つの要素を踏まえた第3期戸田市スポーツ推進計画を策定します。

【第3期戸田市スポーツ推進計画に盛り込む要素を整理する3つの観点】

- ・ 市民意識調査、スポーツ・レクリエーション意識調査の結果に基づく整理
- ・ スポーツ基本法改正、国の第3期スポーツ基本計画の策定に伴う整理
- ・ スポーツ推進条例の制定、本市の地域特性、社会状況の変化に伴う整理

【第3期戸田市スポーツ推進計画に盛り込むべき6つの要素】

- ① 誰もが参加しやすいスポーツの推進
- ② スポーツによる健康増進
- ③ トップアスリート・スポーツチームとの連携・協働
- ④ ボートのまちづくりコンソーシアムの活用
- ⑤ デジタル技術を活用したスポーツの機会（eスポーツ）の充実
- ⑥ 部活動の地域展開



5 第3期戸田市スポーツ推進計画におけるスポーツの定義

第2期戸田市スポーツ推進計画では、スポーツ基本法及び国のスポーツ基本計画を踏まえ、「日常生活における軽い運動から高いレベルの競技まで」と幅広くスポーツを定義していました。

国のスポーツ基本計画の改訂後も、この定義との乖離は認められないことから、第3期戸田市スポーツ推進計画においても第2期戸田市スポーツ推進計画の考え方を踏襲し、次のとおり「スポーツ」を幅広く捉えます。

スポーツ

日常生活における軽い運動、楽しみながら体を動かすこと、そして、高いレベルの競技までを広く「スポーツ」として捉える。

- 健康維持や仲間との交流など多様な目的で行うものを自ら行動し実践すること。（散歩や体操、軽い運動、子供との体を使った遊び、通勤・通学や家事・買い物などの日常生活の中で意識的に体を動かすことなども含む。）
- 趣味としての運動や同じ目的を持った仲間とのスポーツ活動など、楽しみながら身体を動かすこと。
- 競技としてルールに則り他者と競い合い自らの限界に挑戦すること。

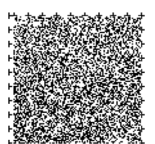
eスポーツについて

第2期戸田市スポーツ推進計画では、eスポーツ²をスポーツの定義に含まないものと整理していましたが、第3期戸田市スポーツ推進計画のスポーツの定義には、次の整理から、「健康・体力の維持・増進を意識的に行う身体活動を伴うeスポーツ」を含むこととしました。

『eスポーツ』と『スポーツの定義』に係る整理

- ①スポーツ基本法では、定義をより広く捉えるべきとの考え方に立っている。
- ②スポーツ基本法の改正により、eスポーツの充実が地方公共団体の努力義務とされた。
- ③スポーツの多様な活動を幅広く受け止めることが望ましいと示されている。
- ④身体活動を伴うeスポーツは、日常生活における軽い運動との親和性が高い。

² スポーツについては、スポーツ庁次長通知（7ス庁第1241号）において、スポーツ基本法第24条の2に規定する「情報通信技術を活用したスポーツの機会」と示されている。



6 第3期戸田市スポーツ推進計画の基本理念

第3期戸田市スポーツ推進計画は、戸田市スポーツ推進条例に定めるスポーツの推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための計画であることから、スポーツ推進条例とスポーツ推進計画の整合を図ることとし、戸田市スポーツ推進条例に定める『基本理念』を本計画の基本理念に位置付けました。

基本理念（戸田市スポーツ推進条例第3条）

『全ての市民が生涯にわたって、自らの体力、年齢、技術、目的等に応じてスポーツに親しむことができること。』

『スポーツを通じて世代間及び地域間の交流の基盤が形成され、更にその交流が促進され、スポーツに関する能力の水準の向上が図られること。』

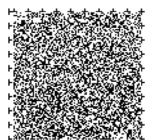
『本市に関わるスポーツ選手及びスポーツチームの活動を応援する社会的気運を高め、地域の一体感の醸成及び活力の向上が図られること。』

スポーツは、年齢や体力、目的に応じて誰もが生涯にわたり楽しむことができ、心と体の健やかな成長を支える大切な活動です。また、スポーツを通じて世代や地域をこえた交流が生まれ、その広がりが市民一人ひとりの技術や能力の向上にもつながります。さらに、本市ゆかりの選手やチームを応援する気運が高まることで、地域全体の一体感と活力が育まれていきます。こうしたスポーツの力を未来へつなげ、誰もが気軽に親しめる環境を整えるため、この基本理念を掲げ、戸田市のスポーツ推進に取り組んでいきます。

戸田市スポーツ推進条例及び生涯スポーツ都市宣言を踏まえ、「基本理念」を充実するに当たり市民をはじめとした関係者間で計画が目指す方向性を認識してもらうため、分かりやすく簡潔に示すスローガンを定めます。

第3期戸田市スポーツ推進計画 スローガン

『 スポーツでつなぐ 健康・地域・未来 ～ 生涯活躍のまち戸田 ～ 』



スローガンを構成する要素について

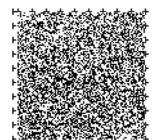
『スポーツで繋ぐ健康』…スポーツを通じて心と体の健康づくりを促し、日常の中で無理なく続けられる健やかな生活習慣としてスポーツを位置づける。

『スポーツで繋ぐ地域』…スポーツを通じて人と人の交流を生み、世代を超えて支え合う温かい地域コミュニティを築いていくことを目指す。

『スポーツで繋ぐ未来』…スポーツの楽しさや挑戦を次の世代へとつなぎ、東京オリ・パラで生まれたスポーツ・レガシーを継承しながら、誰もが未来に向かって成長し続ける社会を育む。

『生涯活躍のまち戸田』…年齢、性別、国籍、障がいの有無を問わず、誰もがスポーツに関わり続け、生涯にわたって健康・交流・活躍の場を持てるまちを目指す。

スポーツが健康を支え、地域をつなぎ、未来をひらく― その力を最大限に活かしながら、戸田のまちの新たな価値とともに築いていきます。



7 第3期戸田市スポーツ推進計画の基本目標

基本理念、基本方針に基づいたスポーツを推進するために、次の基本目標を掲げます。

基本目標① スポーツと関わる機会を創出します。

年齢、性別、国籍、障がいの有無に関わらず誰もが参加しやすいスポーツイベント・教室等の開催、スポーツと関わる機会の創出とともに、日常生活における軽い運動（散歩や体操、日常生活の中で意識的に体を動かすことなど）も健康増進のためのスポーツとして捉える意識を醸成し、スポーツ参画人口を拡大させます。

基本目標② スポーツを「する」人たちを支援します。

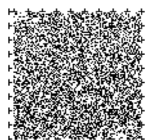
競技者に対する活動補助や表彰、安全で快適なスポーツ施設の整備などを実施するとともに、デジタル技術を活用したeスポーツを含め「スポーツ」の定義を幅広く捉え、スポーツを「する」人たちを積極的に支援し、戸田市から世界へ羽ばたく人材の育成を図ります。

基本目標③ スポーツを「みる」機会を創出します。

スポーツ観戦や応援等もスポーツ参画と位置づけ、スポーツを「みる」機会を創出し、トップアスリート等との交流イベントや競技体験会の実施など身近なスポーツからプロスポーツまで、市民がスポーツに関心を持つことができるよう努めます。

基本目標④ スポーツを「ささえる」人たちを育成します。

部活動の地域展開の受け皿を含むスポーツ推進の役割を担うスポーツ関連団体の育成・支援の他、スポーツ活動のきっかけづくりや適切な助言などを行う指導者、スポーツクラブ・団体の運営を行う人など、スポーツを「ささえる」人たちの育成・確保を図ります。

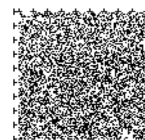


基本目標⑤ 地域資源を活かしたスポーツを推進します。

戸田ボートコースや彩湖・道満グリーンパークなどの施設資源、トップスポーツチーム、トップアスリートなどの人的資源をはじめとする戸田市独自の地域資源を活かしてスポーツを推進していきます。また、ボートコースのあるまちとして、競技関係者、地域住民及び行政で構成するボートのまちづくりコンソーシアムを活用して、ボート競技への市民の関心を高めていきます。

基本目標⑥ 子どもたちにスポーツの素晴らしさを伝えます。

学校施設開放事業の実施や部活動の地域展開を含む地域との連携など学校での体育や運動部活動、家庭や地域でのスポーツを通じて、次代を担う子どもたちにスポーツの素晴らしさを伝え、生涯にわたりスポーツに親しむ心を育てていきます。



8 第3期戸田市スポーツ推進計画における計画の指標

第3期戸田市スポーツ推進計画の基本目標に基づく指標を、以下のとおり設定します。

各指標は、第1期戸田市スポーツ推進計画・第2期戸田市スポーツ推進計画から取り組んでいる内容を継続しつつ、計画期間において各指標の目標を、目標値として設定しました。

	指 標	現状値	目標値	関連する 基本目標
1	市民のスポーツ実施率（週1回以上）の向上	43.1%	60%	①②③ ④⑤⑥
	週1回以上スポーツ（散歩、体操、日常生活で意識的に体を動かすことなどを含む。）を実施する人の割合を向上させます。			
2	ボート・カヌー教室の参加者数の増加	320人	420人	①⑤
	市民ボート教室、カヌー体験教室などの参加者数を増やしていきます。			
3	スポーツ教室の参加者数の増加	74,965人	76,500人 （延べ人数）	①⑥
	スポーツセンターなどで実施する戸田市のスポーツ教室の参加者数を増やしていきます。			
4	トップアスリートとの交流イベントの開催	年8.5回 （過去平均値）	年10回	①③ ⑤⑥
	戸田市にゆかりのあるトップスポーツチームやトップアスリートを招いた交流イベントを開催します。			
5	全国大会等の出場者への支援	45件	50件	①②④ ⑤⑥
	国際大会や全国大会に出場する競技者を支援します。			
6	スポーツ観戦率（年1回以上）の向上	28.9% （現地のみ） 79.4% （メディア含む）	85%	①③
	スポーツへの意識を高め、スポーツの観戦（メディア媒体での観戦を含む。）をする市民の割合を向上させます。			
7	ボート競技への関心度の向上	36.9%	40%	①③ ⑤⑥
	戸田市の地域資源であるボート競技への関心を高めていきます。			

